

(2) 基調講演配布資料

第2回国土形成計画シンポジウム
「安全安心な中部のかたち」
安全・安心に日本が生きるための国づくり
 主催：国土交通省
 中部地方整備局 中部運輸局
 2006年7月21日
 於：ウィルあいち
 工学院大学教授
 東京大学名誉教授
 畑村洋太郎

①

2006-7-21
1 藤村洋太郎

0. 3現(現地・現物・現人)の必要性
1. 自然災害
2. 緊急時(国防)や災害に備えたインフラの整備
3. 産業・都市計画を考えたインフラの整備
4. 資源・エネルギー
5. 技術と公害
6. 新工法の開発
7. 事故に学ぶ
8. 国土計画を立案・実行する上で留意すべきこと

②

図 見学先一覧

③

2006-7-21
1 藤村洋太郎

(1) 自然災害—風、水、土砂—

- ・ 日本海側の異常気象(竜巻)
 - 羽越線脱線事故(2006-1-16, 2006-1-27, 28見学)
 - 福井豪雨(2004-7-18) 2001/8/22?
- ・ 土砂災害
 - 立山砂防ダム工事(2003-6-12, 2005-10-11見学)
 - 渡良瀬川(1971-5-27見学)
- ・ 洪水
 - 多摩川拍江堤防決壊現場(1974-9-4見学)
 - 信玄堤(歴史に見る技術)(2005-5-20見学)

④

① クロマツが倒れる
② ビニルハウス倒壊
③ 暴風機飛散
④ 作業小屋倒壊
⑤ 屋根瓦飛散
⑥ ビニルハウス倒壊

日本風工学会調査
および
畑村の実地調査
による

図 2005年12月25日の竜巻による被害状況

⑤

2006-7-21
1 藤村洋太郎

写真 羽越線脱線現場盛土の風上側斜面と
吹き飛ばされた作業小屋の残骸(2006/1/16畑村撮影)

⑥

2006-7-21
1 藤村洋太郎

図 立山砂防ダムの位置

⑦

2006-7-21
1 藤村洋太郎

写真 白岩砂防ダム全景
(2003-6-12畑村撮影)

⑧